

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和6年度日豊本線 重富・竜ヶ水間448k660m付近跨線橋（脇元高架橋）新設
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎7階
契約締結日	令和 6年 8月 1日
契約の相手方の氏名及び住所	九州旅客鉄道（株）
契約金額 （消費税及び地方消費税含む）	¥111,551,000-
予定価格 （消費税及び地方消費税含む）	¥0-
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備考	

随意契約理由書

1. 件名等 日豊本線 重富・竜ヶ水間 448k660m 付近跨線橋（脇元高架橋）新設
2. 履行場所 鹿児島県始良市地先
3. 随意契約の相手方 名称：九州旅客鉄道（株）
住所：福岡市博多区博多駅前三丁目 25 番 21 号
4. 随意契約適用法令 会計法第 29 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号
5. 当該工事の目的・内容及び随意契約に付する理由

1) 随意契約に付する理由

本工事の施工にあたっては、九州旅客鉄道（株）管理区域内において軌道上での施工が必要となるため、施工においては鉄道運行に支障を及ぼしてはならず、常に安全かつ正確な施工が求められる。

このため、万が一軌道に対し、何らかの変状等をきたした場合、若しくは事故等が発生した場合に、緊急かつ特別な措置を講ずる必要がある。

また、夜間施工時においては、き電停止を行う等、運行管理上の措置と密接な連携をとりながらの施工が求められる。さらに、安全保安上の各種対策等を総合的に講ずる必要がある。

以上のことから、本工事の施工にあたって必要な知識・経験・技術力を十分に有しており、的確で円滑に工事を遂行するためには、当該鉄道管理者である九州旅客鉄道（株）が唯一の契約相手と判断するものである。

このため、本工事は会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号により、九州旅客鉄道（株）と随意契約を行うものである。

(随意契約理由書作成者)

道路部 道路工事課長